

○3 番（宮原隆昌君）

3 番、宮原です。

市町合併について質問いたします。今年 4 月 24 日に民間組織、人口戦略会議は、土庄町を含む香川県内 4 市町が消滅可能性がある自治体であるとの分析結果を公表いたしました。驚いた町民も多かったと思います。

土庄町として、すでに始まっている凄まじい人口減少化の中で、住民サービスの充実やサービスを安定的に供給を図るためには、さらなる行政基盤の確保と経費の節減、行財政の効率的な運営が必要であることは言うまでもありません。

そうした中で、一本化した小豆島観光協会や 2 町で運営している広域の小豆地区消防本部、小豆島老人ホーム オリーブ、小豆島クリーンセンターなどの持続可能な運営や現在進行中の中間処理事業など、島単位で考えなければならない事業も多いと思います。私は、このような状況の中で、土庄町が将来にわたり持続的に町民サービスを提供し続けるためには、市町合併も選択肢の一つであると考えます。

そこで質問いたします。現時点で考えられる土庄町にとっての市町合併のメリット、デメリットについては、何が考えられるのでしょうか。

○議長（濱野良一君）

総務課長 濱口浩司君。

○総務課長（濱口浩司君）

宮原議員のご質問にお答えいたします。

平成の大合併では、全国の市町村数が約 3200 から約 1700 となり、香川県では 5 市 38 町から 8 市 9 町となりました。

合併のメリットは、市町村の規模の拡大により行財政基盤の強化を図ることであり、新しい課題や専門的知識を必要とする業務に対応した組織編成や職員の配置、確保がしやすくなる。広範的な視点から公共施設を無駄なく配置、整備できるなど、人的資源の有効活用や事業の効率化により、住民サービス全体の水準を維持していく可能性が広がることであります。

一方、デメリットは、周辺地域の活力損失、住民の声が届きにくくなる、地域特性の衰退などが指摘されております。以上です。

○議長（濱野良一君）

宮原隆昌君。

○3 番（宮原隆昌君）

土庄町は、平成 16 年の小豆郡 3 町合併協議会を最後に、単独町として現在に至っておりますが、今年 6 月 13 日に開催されました小豆島町議会定例会において、安井議員より大江町長に対し、小豆島の今後を考え、各種対策を 2 町が協力して取り組み、その中で合併も考える時期が来たのではないかという一般質問

が出されました。

大江町長からは、現在、合併について機運はないが、今後住民の皆さんの中に機運が盛り上がるのであれば、土庄町と話をする機会もできるとの答弁がございました。このとき、私は傍聴席で聞いておりましたが、わが町より先に小豆島町議会で、合併の話が出たことには驚きました。

また、先月 11 月 26 日の香川県議会定例会の代表質問で、平木県議会議員より池田知事に対しまして、令和の大合併として香川県において、改めて行政の効率化を図らなければならず、市町合併も 1 つの選択肢であると発言されております。

県議会のことですので詳細は差し控えますが、このような状況の中で、岡野町長の市町合併に対する現時点でのお考えをお聞かせいただければと思います。

○議長（濱野良一君）

岡野町長。

○町長（岡野能之君）

宮原議員のご質問にお答えいたします。

平成の大合併は、地方分権改革とともに国主導での合併が進められましたが、現在は地方の自主的な合併に委ねられております。わが国全体が人口減少社会に直面し、市町村を取り巻く環境は厳しさを増していることや、広域的に取り組む事業の必要性などを考慮すると、持続可能な地方自治体のあり方として、市町村合併は選択肢の一つであると思います。

しかしながら一方で、実際に合併するとなりますと、合併に関わるさまざまな利害関係の調整や、新しい行政体制に移行するためのハード、ソフトの整備などが必要になりますとともに、合併によるデメリットにも真剣に向き合わなければなりません。そして、機運の醸成には、やはり合併を後押しするための財政的な措置などが不可欠であると思っております。

こうしたことから、現状では、まだ具体的に合併を検討するまでには至っていないと認識しておりますが、土庄町と小豆島町の 2 町が共同で取り組むことは年々広がっており、私が町長に就任してから観光協会の一本化や観光ビジョンの策定など観光分野での取り組みをはじめ、障がい者グループホームの建設、移住や雇用、あるいは公共交通施策など、さまざまな分野で「島は一つ」の共通認識のもとでの行政運営を進めており、今後、一層連携を深めていきたいと考えております。以上でございます。

○議長（濱野良一君）

宮原隆昌君。

○3 番（宮原隆昌君）

ありがとうございました。

22年前の平成14年10月の合併の是非を問う住民意識調査の結果は、土庄町町民は合併に対して約60%の住民が反対したわけですが、あれから20年以上経過し、小豆島の状況も大きく変わりました、町民の意識も変わっているかもしれません。ぜひ、来年は合併70周年の年です。機会がありましたら全世帯に住民意識調査を実施して、町民の合併に関する意識を確認しておくことも大事であると思いますので、そういうことをお願いして一般質問を終わります。

以上です。